

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 平成27年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/8 仁叟寺大般若会大施食会併修哲道上座得度式
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 蚕影山例祭大施食会
- 5/25 迦葉山開帳研修旅行
- 5/31 本堂建設工事研修
- ※6/15 25世五十回忌法要
- ※6/27~6/28(一泊二日) 県青年会主催第53回群馬緑蔭禅の集い(会場、仁叟寺)
- 7/13~7/16 新暦盂蘭盆会 京浜地区檀信徒棚経
- ※7/29~7/30(一泊二日) 第34回子供禅の集い
- 8/2 夏季おてんま
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※10/2 県宗務所主催特派布教師巡回(会場、仁叟寺)
- 11/11~11/12 県宗務所主催檀信徒研修旅行(總持寺他)
- 12月初旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・華道教室
- ※は、御本寺仁叟寺にて修行

## 龍源寺二十五世仁叟寺二十九世再中興雲巖石橋大和尚五十回忌併修大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌法要



↑ 龍源寺25世仁叟寺29世再中興雲巖石橋大和尚



上) 隨喜御寺院様集合写真 左) 五十回忌法要をお勤めされる大本山總持寺副貫首石附周行老師 右) 大遠忌法要導師、仁叟寺住職

6月15日、龍源寺25世仁叟寺29世再中興雲巖石橋大和尚五十回忌法要が、大本山總持寺副貫首石附周行老師ご導師の下、50人もの隨喜寺院様、また仁叟寺檀信徒の皆様方と共に、厳肅かつ莊嚴に修行されました。併せまして、仁叟寺住職導師にて、大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師650回大遠忌法要が営まれました。本法要に当たり、



200名を超える参列者はもとより、100名以上の志ある檀信徒の皆様方より、献香料を頂戴いたしました。改めまして、御礼を申し上げます。

←受付を勤めました  
仁叟寺総代人の皆様方



## 龍源寺主催 迦葉山大開帳研修参拝旅行修行



↑ 迦葉山様中峯堂前にて記念集合写真

食は精進料理の御膳を頂戴いたしました。

迦葉山様、参加されました方は勿論、バスを快くお貸し下さいました弘龍様、運転の労を荷っていただきました桐生市文昌寺副住職大澤邦裕老師、誠に有難うございました。

5月25日（月）、龍源寺主催研修参拝旅行が修行されました。10年に一度の大開帳が勤められました、沼田市の霊峰迦葉山様にお詣りさせていただきました。

5月11日に、住職が群馬県曹洞宗青年会長として、大開帳法要中に東日本大震災物故者供養法要の焼香師を勤め、そのご縁を以てこの度の研修旅行を企画させていただきました。急な案内にも関わらず、21名もの参加が集い感謝しております。

また、迦葉山様のご厚意もあり、御祈禱を受けさせていただきました後に、10年に一度しかお会い出来ません中峯尊様にお詣り、昼



↑ 迦葉山様特製 精進料理の御膳

## 龍源寺主催 当山本堂建設研修参拝旅行



← 光照寺様 (藤岡市矢場)  
→ 地勝寺様 (吉井町小串)



5月31日（日）、龍源寺本堂改築に向けた研修参拝旅行が行われました。同趣旨での旅行は、今回で三回目かつ最終回となりました。寺報「山雲水月」内でも紹介させていただいた通り、第一回目は、昨年春に行われました町内寺院参拝研修旅行。第二回目は、昨年秋に行われました新潟県魚沼及び渋川市内寺院参拝及び宮大工視察研修旅行です。

今回は、宮大工堂宮入秀社寺建築株式会社様が手掛けられた光照寺様と地勝寺様をお詣りさせていただきました。特に光照寺様は、檀信徒規模も当山とほぼ同じで、良い研修旅行が勤められたものと思っております。また地勝寺様は、住職が吉井町仏教会でお世話になっているご縁もあります。ご歓待下さいました両寺様、参加されました20名の檀信徒及び関係各位、どうも有難うございました。

## 龍源寺蚕影山例祭、大施食会法要、檀信徒総会



4月29日、恒例の龍源寺蚕影山例祭、大施食会法要、檀信徒総会（通称・筍会）を厳修させていただきました。また、式に先立ちまして、福島県南相馬市新祥寺副住職の野田精頭老師より東日本大震災被災地から貴重なご法話を賜りました。

総会では、本堂改築の具体的な案内を本年度中に出しすことを決定。下記の通り、建設委員会も発足いたしました。

←南相馬市新祥寺副住職野田精頭老師によるご法話

## 龍源寺本堂改修工事建設委員会一覧（敬称略）

建設委員長	松田	出牛裕一	委員	多胡	田中純示
副委員長	松田	白田 博	全	矢田	金井邦夫
全	矢田	木村照夫	全	松田	出牛 均
監 査	多比良	田端米治	全	多胡	篠崎悦一
顧 問	矢田	小林 茂	全	松田	白田幹男
委 員	松田	白田隆一	全	多胡	田中道教

## 仁叟寺除夜会、大節分会 本年も盛会裏に圓成



← 大節分会当日の様子  
 ↑左よりスリランカ僧シーラ師、中曽根康隆氏、富岡賢治高崎市長、中曽根弘文参議院議員、福田達夫衆議院議員御令室様、仁叟寺住職、飯塚邦広高崎市議、福田区長、サンコー寺本欣一治社長

昨年12月31日に、恒例の仁叟寺除夜会を開催。また、本年2月3日には、同じく恒例の行事、仁叟寺大節分会を修行いたしました。

本年も両日共に、多くの参詣者が見えられ、我が国に伝わる歴史と伝統ある年中行事をお勤めすることが出来ました。特に大節分会では、来賓に見えられた方々に年男年女の方々と豆撒きを行っていただきました。また、例年のことではありますが、同行事を勤めるに際し、総代さん役員さんには大変お世話になりました。



↑チャリティバザーも開催

↑総代さんによる事前準備

厚く御礼申し上げます。

# 第53回群馬緑蔭禅の集い 仁叟寺にて修行

本年度で第53回目となります「群馬緑蔭禅の集い」が、仁叟寺を会場に6月27～28日の一泊二日に亘り、開催されました。

同集いは、住職が会長を務めます群馬県曹洞宗青年会の主催の恒例行事で、本年は講師に青森県恐山院代の南直哉老師を迎え、参加者35名・随喜会員45名と共に修行いたしました。開講式は、曹洞宗群馬県宗務所長であり会場主でもある仁叟寺住職が導師を勤め、挨拶。坐禅は勿論、南老師による法話、新井慈観先生による写仏、皆で行う清掃作業を意味する作務、ほか諸々の法要等を通じ、身心一如の修行生活が、当山を舞台に行われました。

また入浴に当たっては、サンコー72カントリークラブを利用させていただきました。有難うございました。来年も同集いは青年会によりお勤めされます。坐禅に興味・関心のある方は、是非ご参加下さい。



→上)ポスター↓下)新井慈観先生の写仏講話  
／恐山南直哉老師ご法話



# 自らを洲とする ～東日本大震災被災地復興支援～



↑ 福島群馬青年会合同の奉仕作業

住職が会長を勤めます群馬県曹洞宗青年会では、去る5月19日から20日に掛けて、福島県南相馬市及び浪江町に慰霊及びボランティア活動に伺って参りました。群馬県曹洞宗青年会会員23名と福島県曹洞宗青年会会員23名、合計50名ほどで、福島県被災地域及び新祥寺様での慰霊と奉仕活動をさせていただきました。

福島県曹洞宗青年会の会長及び副会長は、住職と同じ大本山總持寺での修行仲間。お互いに何か出来ることを考え、昨秋に両会会員有志で下見を兼ね同作業を勤め、今回の両会挙げての慰霊及び支援活動に繋がりました。南相馬市小高地区での奉仕作業や同市菅浜地区、今なお居住制限のある浪江町にて慰霊碑前等にて法要を勤めました。ほか、県青年会で修行した托鉢の浄財を、地元社協ボランティアセンター等へ支援金としてお渡し申し上げました。

また、龍源寺と仁叟寺の各行事で集まった支援の浄財は、この機会に被災地支援活動に福島民報社様を通じ寄進いたしました。ご協力有難うございました。

↓ 福島民報に掲載されました



慰霊法要 ↑ →



## 平成26年度御寄附者一覧 (順不同、敬称略)

寄進品目名	爲	地域	施主名
境内手摺三基工事一式	篠崎家墓石塔開眼会供養	吉井川	篠崎たま美
位牌堂先祖供養牌	高森家墓石塔開眼会供養	馬庭	高森 正弘
全	須川家墓石塔開眼会供養	高崎	須川 勇
櫛製三界萬霊供養位牌	雪峰美光大姉位菩提供養	矢田	中曾根美緒
本堂庫裡補修工事一式	当山新盆各諸精霊位供養	—	—
得度式用法衣一式	出牛家先祖代々菩提供養	松田	出牛 裕一
新米澤山	白田家先祖代々菩提供養	松田	白田 幹男
全	田中家先祖代々菩提供養	多胡	田中 道教
全	志賀家先祖代々菩提供養	松田	志賀 一夫
研修旅行ほか賛助	出牛家先祖代々菩提供養	松田	出牛 裕一

## 平成27年度龍源寺総代人世話人一覧 (敬称略)

総代長	松田	出牛裕一	役員	多胡	※田中純示
総代人	松田	白田 博	全	多胡	※神部忠雄
全	矢田	木村照夫	全	松田	※出牛 均
顧問	多胡	宇佐美源吾	全	松田	※白田金二
全	矢田	小林 茂	全	矢田	中曾根美緒
役員	多比良	田端米治	全	矢田	※金井勝美

上記の表が、平成27年度龍源寺総代人世話人の方々です。宜しく願いいたします。また、※印の方が新任となります。また、本年6月9日に顧問であり元総代長の宇佐美源吾翁（多胡）が、ご逝去されました。戒名、龍然院仙翁源光居士位、行年97歳。ご冥福を祈念申し上げます。合掌。

## 行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

暑中お見舞い申し上げます。

酷暑という言葉通り、非常に暑い日が続いております。このような暑さの中、毎年恒例の行事として、総代さん役員さんとお盆様を迎える準備として夏のおてんまを行っていましたが、本年より幾らかまだ涼しい早朝の開始と寺役員さんの呼び掛けによります有志の方々の参加というかたちに変更いたしました。結果、暑さ厳しい中にも関わらず予想を超える多くの参加者有志が集い、作業も迅

速に終了することが出来ました。改めまして、参加されました皆様に厚く御礼申し上げます。

また、本年7月29日より住職が地元高崎市吉井地区社会福祉協議会の運営委員を拝命いたしました。地域の社会福祉向上の為、微力ではありますが、力を尽くさせていただきます。どうかと思っております。合掌。(龍)

夏季おてんま作業風景→

